

さらなる高みへ...

遂に！ 全社初出場！



<第47回全国社会人サッカー選手権大会 関東予選>
関東サッカーリーグ所属の16チームと都県代表の12チームの計28チームが6ブロックに分かれ
トーナメント方式で争う。各ブロックを勝ち抜いた1チームは10月に岐阜県で開催される
第47回全国社会人サッカー選手権大会に出場する。(開催日:6月26日(日)、7月3日(日)、7月10日(日))

【第47回全国社会人サッカー選手権大会 関東予選】

対戦相手: FC KOREA(関東1部)
日程: 2011年07月10日(日) 時間: 14時00分キックオフ 場所: 保土ヶ谷公園サッカー場

勝てば全国、負ければ今までの勝利が無になる重要な一戦。相手が関東一部で毎年上位に進出しているFCコリアという
ことで、立ち上がりから一進一退の攻防が繰り返された。先手を奪ったのはFCコリア。
エリア内で伊藤が相手を倒してしまい、やや不運な形であったが、PKから先取点を奪われてしまう。その後は、両チームとも
激しくぶつかり合いながら、決定機を作れずに前半を終えた。後半は開始から、アマロ監督が猪股に代えて山本を投入。
FWの枚数を増やし、点を取りにくい姿勢を見せた。すると、山崎がドリブルでエリア内に侵入し、相手に倒されてPKを獲得。
それを山本がプレッシャーに負けることなく決め、ゲームは振り出しに戻る。同点は追い付いたことで、チームに勢いが
生まれ、その後もサイドを使いながら攻勢に出ている。しかし、なかなかゴールに結び付かず、延長戦のことも意識し始めた
ころ、安東からのパスに山本が抜け出し、飛び出してGKの頭を越すシュートを決め、逆転に成功。
この得点を最後まで守りきり、チームは初めて、全国の舞台へ進むこととなった。

【スターティングメンバー】



GK	12	新波 薫
DF	3	中山 友規
DF	5	伊藤 龍
DF	14	山村 和士
DF	16	天野 徹
MF	4	山崎 健太
MF	6	安東 利典
MF	8	猪股 聖哉
MF	9	山下 亮介
MF	17	田村 聡
FW	11	山本 孝平

<SUB>
GK 21 平川 正城
MF 13 三沢 慶一 MF 20 飯野 大達
FW 10 山本 恭平 FW 19 岡 正道
FW 24 池田 啓太 FW 27 小野 優太

<交代>
後半 0分 OUT 8 猪股 IN 10 山本(恭)
後半 33分 OUT 9 山下 IN 20 飯野
後半 40分 OUT 11 山本 IN 19 岡

<ブロック決勝>

TOKYO23FC

2 - 1

FC KOREA (関東1部)

後半 14分 11山本(PK)
後半 37分 11山本

0 (前半) 1
2 (後半) 0

前半 12分 李智星(PK)



<アマロ監督コメント>

Today's AMA!

▽暑い中での、チームの出来について
本当に今日は暑くて、しっかりと戦う気持ちを持たないと勝てないと思っていた。
選手にもそう伝えて、気持ちの入ったプレーをしたから、先制点を取られても逆転できたのだと思う。

▽試合後、爆発的に喜んでるようには見えなかった
そんなことはないよ(笑)すごく感動しました。
一番うれしかったのは、選手みんなががんばって、自分たちの力で全国に行けるようになったこと、全国へ行けば、いろんなところから注目してもらえかもしれない、自分のため、チームのためにがんばってくれたから、すごくうれしかった。

▽後半開始から山本を投入して2トップにした
前半はいつも通りの4-3-3で、中盤は安東がステイして、山崎と猪股が攻める形にした。
ただ、切り替えの部分に問題があって、負けていることもあり、4-1-3-2のシステムに変えて、前の5人が攻撃的に形にした。その後、中央の守備が厳しくなったので、ダブルボランチに変更して、4-4-2の形にした。山本は久しぶりの試合で、コンディションも厳しかったが、ポストプレーもでき、前線でごんばってくれた。

▽公式戦では初の逆転勝利だった
やっぱり、最後まであきらめないこと。
先制されても、同点ゴールを決めたら、こっちのモチベーションが上がるから、そうすれば、2点目の可能性も高くなる。今日はそれができてうれしかったし、あきらめなければ、今日のような結果を得ることができる。

▽全国へ向けて考えていること
すくりにリーグ戦もあるから、今日のこととはまず忘れたい。全国では、さらにレベルも上がるが、コミュニケーションやコンビネーションを大切に、普段と同じプレーを見せたい。

Attention PLAYER!

FW 11 山本 孝平



▽今回のトーナメント全体について
今まではずっとリーグ戦で、久々のトーナメントだったので、負けたら終わりという緊張感の中で、初戦はみんなちょっと固くなってしまったね。
相手のこともよく分からないという状況でもあったので、2回戦からは、リーグ的に各上の相手ということもあって、みんな気合いが入っていました。
暑い中では、運動量も厳しいのですが、うまく省エネしながら戦っていき、今日の後半なんかは、すごく良かったと思います。

▽今日の後半、久々の2トップになったことについて
やっぱり、FWが一人だと、孤立してしまう場面もあったので。
今日の前半なんかは、(自分に)ボールが入っても、周りにサポートがいなかったり、(選手間の)距離が遠かったりということがありました。2トップだと、2人が近くにいることで、相手もマークをしづらいという面もあり、スペースができて、2点目につながったと思います。

▽1トップの時に、意識しているプレー
やっぱり、そこにボールが入らないと攻撃が始まらないので、できるだけ体を張って、周りにはたきたいという。それと、サイドからクロスが上がるときには、1人かいないので、なるべく上げやすいようにゴール前に入る意識はしています。

▽都リーグでプレーして2年目。得点を量産しており、なにか変わったこと
去年は、都リーグがどれくらいレベルが分かってなくて、今年に入って、良い意味で慣れたというか、分かってきました。
それと、去年は取れるとこで、点が取れないなかったということもあったので、今年は点を取ることに貪欲になってきているというのがありますね。

▽今日の試合で、PKを蹴るとき的心境と2点目のシュートについて
今年は何本かPKを蹴っているんですけど、一回も外していないので、自信はありました。強く蹴れば入るという自信があったので、外すイメージは全然なかったですね。
2点目は(パスを出した)安東さんと目が合って、良いタイミングで出してくれたので。最高のボールでしたね。

▽全国という舞台について思うこと
もちろん、全国に行けば、今日よりもさらに強敵ばかりだと思うんですけど、このリーグから来た人が、何人かいるでしょう。うちはまだまだチャレンジャーです。チーム初の全国大会ということで、プレッシャーもあると思います。でも、そこで1個1個ポイントしていけば、もっと良いチームになれると思いますし、その上のJFLというのも現実味を帯びてるんじゃないかと。まだ時間はあるので、それまで頑張っていきたいです。



TOKYO 23 FOOTBALL CLUB

NEWS

No.027

2011年07月14日(木)

東京23FC広報室

www.tokyo23fc.jp

Next Game...

東京都社会人サッカーリーグ1部
【第11節】

vs V.F.C 1st

日程: 2011年07月17日(日)

時間: 18時00分 キックオフ

場所: 駒沢第二球技場

東京都世田谷区駒沢公園1-1

【現在の順位】

東京都1部リーグ

第10節 終了時点

第1位

(暫定順位)

<Publisher>

Taketoshi Nishimura

<Editor In Chief>

Keita Sugawara

<Editorial>

Keiko Ishikawa

<Text>

Ryouichi Ishihara

<Photo>

TOKYO23FC



スイッチング電源・リニア電源等の
直流・交流電源をはじめとするシステム用機器に
信頼できる高い技術を生かした電源をご提案します。

www.power-j.co.jp